廿三編上
へ13
3754
25

門へ13
號3754
卷25

白縫物語 十

編上冊種員

作國貞画板元

廣岡屋壽梓

生松

短綆不汲深と唐土人の常言なるお當今俗間ぐ唄小歌ふちぎれ
ばるべのさゝうのものおお君の心そくみよると云る唱哥を聞時ハ倭も
漢も人情の暗合いまる妙あらんやされを短綆ふ深井ぐぬ
喜二人筑紫の海そらごとかやし〳〵此本
かりのあらましの物語初編を刊行
そんぞと算るお春秋たゝや〳〵も九年とあれば面壁達磨の
年ふ未だ人物と若菜姫の天人姿
首画を出像讃歎的といふ
とを思と智慧の弔桶のみぢかくて看官達の尊意をさゝふ不得計
漢土の常言と倭朝の小唄の唱歌の暗合を弥増妙と端詞ふ記つ

安政丁巳華歳

柳下亭種員

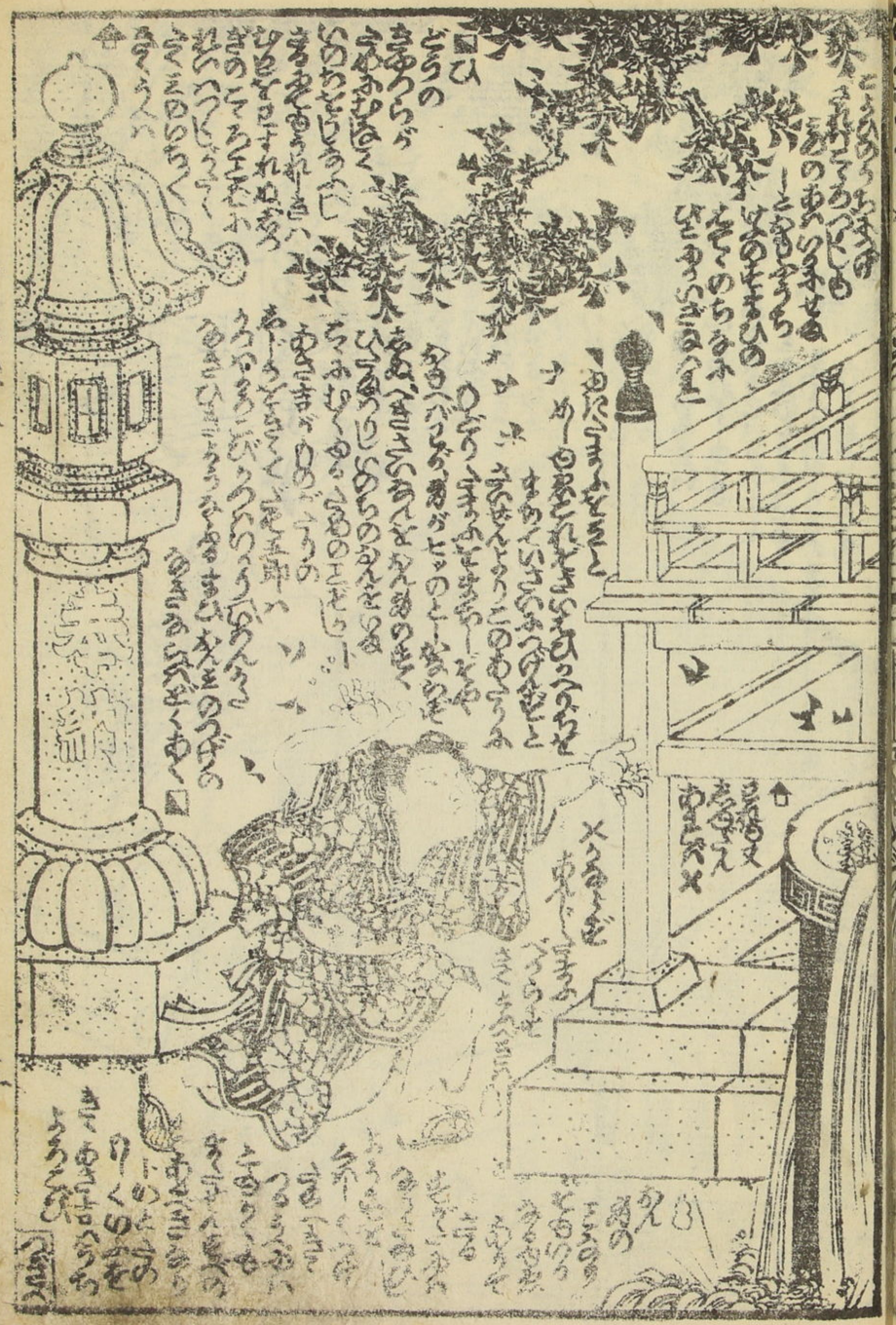
若菜姫

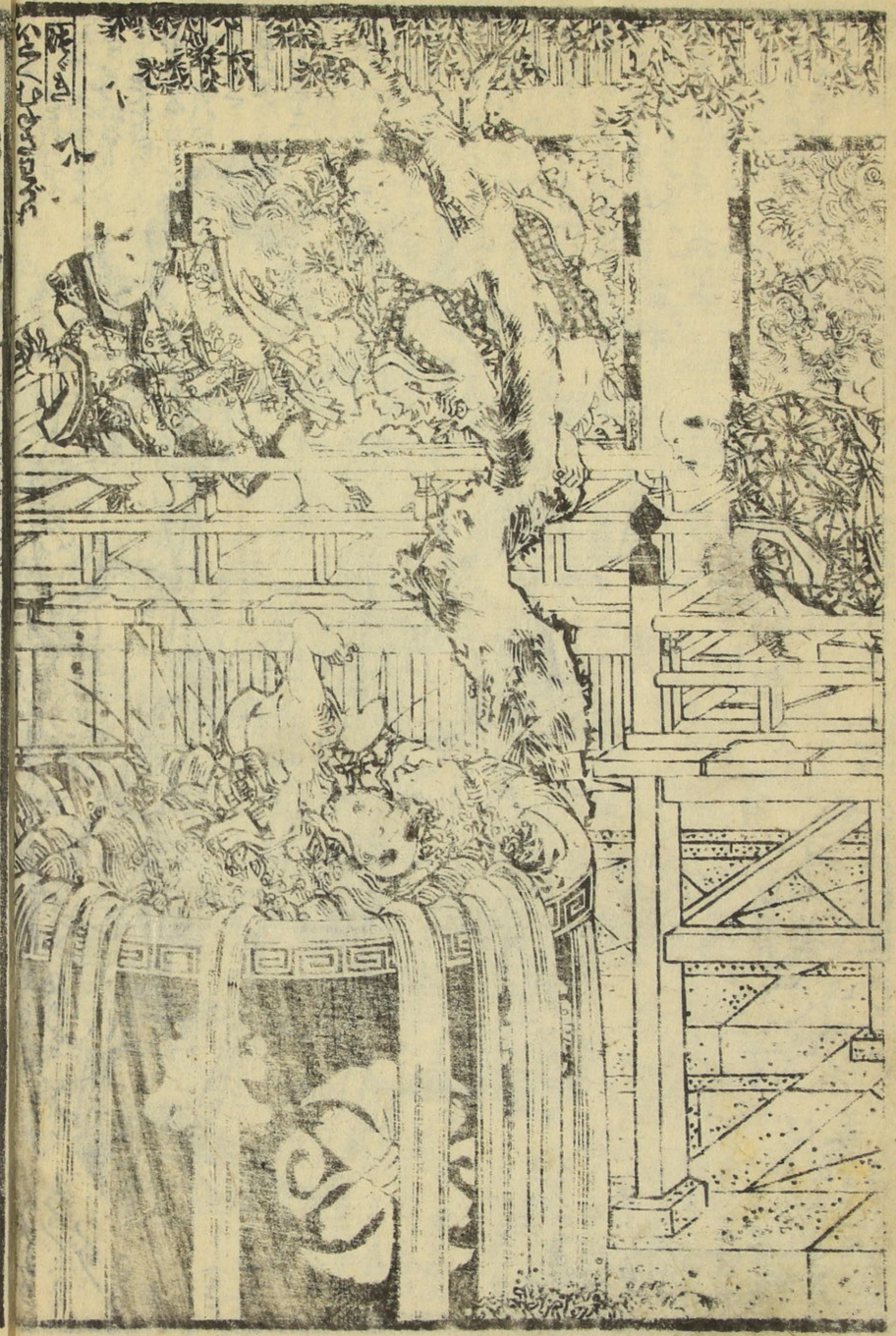
玄海灘右衛門

曲亭馬琴園主

楠正成

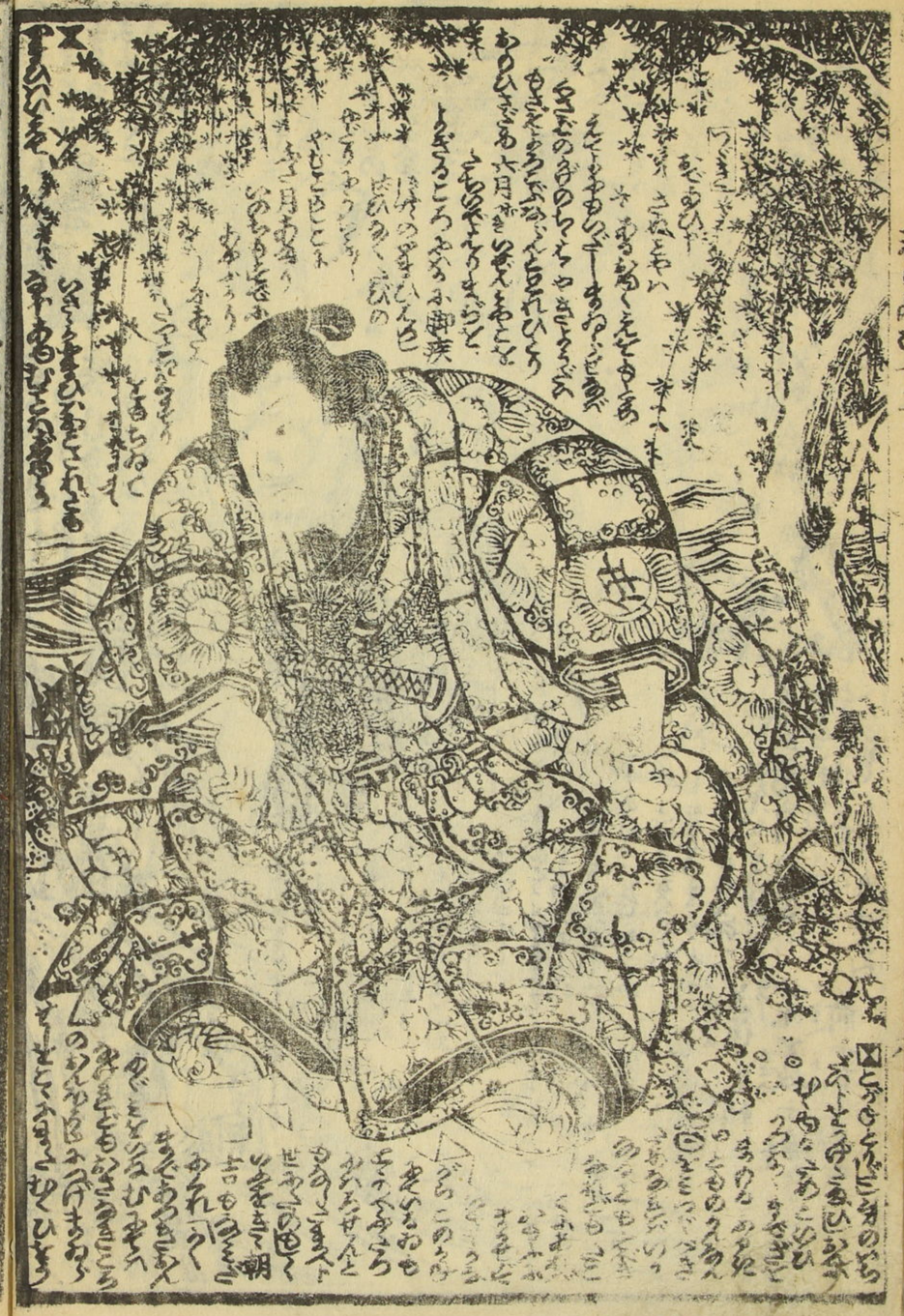
青柳の春之助

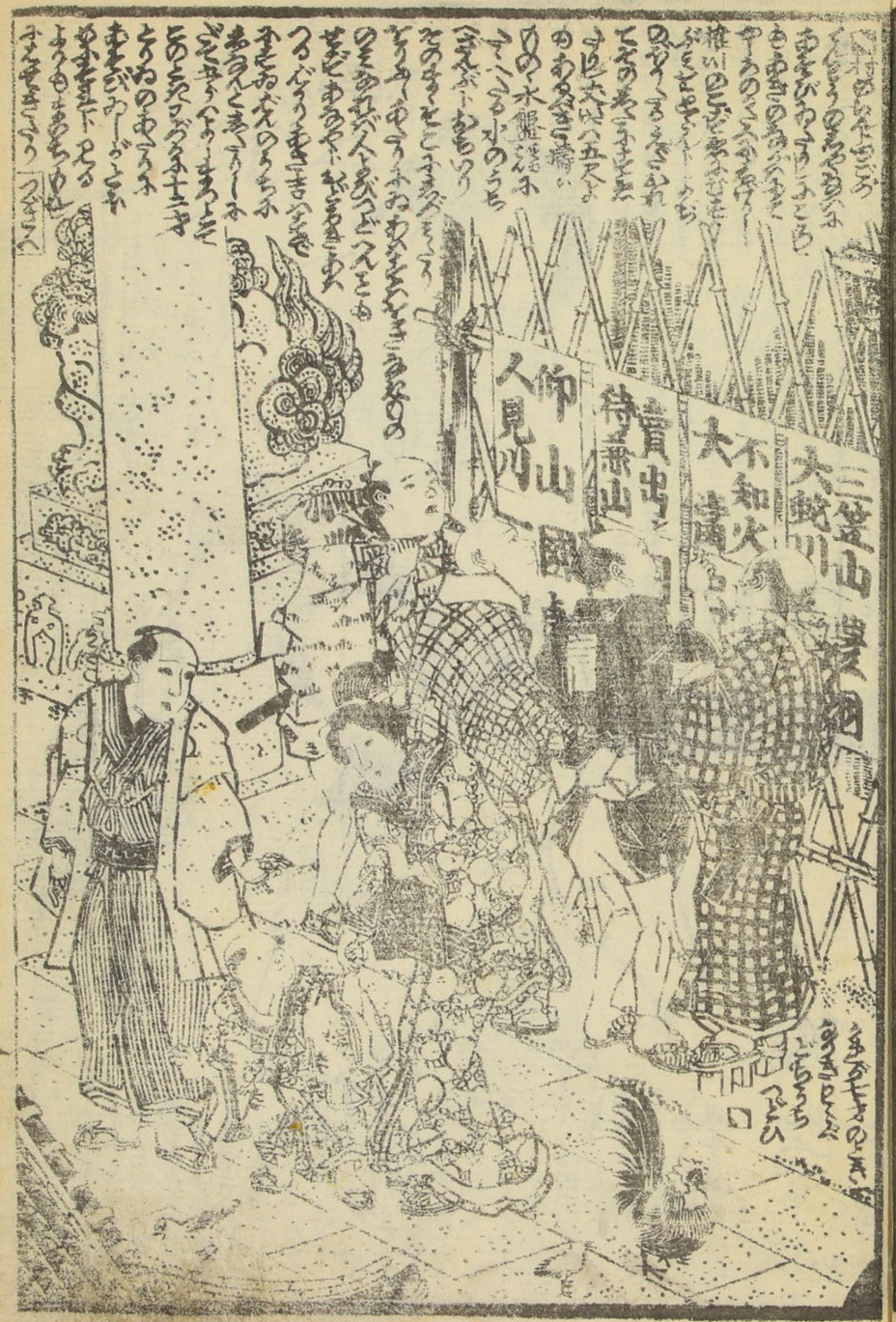




(三)

朝




三笠山
大蛇川
不知火
大蛇川
仰山見物
貴山
特産山

三笠山伊達五郎
東方

大蛇川雛太夫
時宇背九郎

小笠山青樹翁 昔日新話 五編 泉亀亭是正作 全

算法教授書 三種画 全

鼠穴甲子真聞 三編 泉亀亭是正 櫻齋房種画 同

人民必携交際義務 同

延壽百人一首 全

大日本海陸全圖 銅版 全

地本錦繪問屋 東京日本橋通三丁目十三番地

延壽堂 小林九屋鉄次郎版元

白縫物譚 豊國画

皆さん四方赤の名家振物語

故人種員稿種彦作

永板蔦壽堂主人為今回ご新聞社にて浪編を

永板せるみ帳かへ改て

同氏みそて地名より一房

名入うつ忽永板せ看書方

薩摩の米メと伏て希ム

六十四編出板 板元敬白